

第7回織田記念国際シンポジウム

2020年 東京オリンピック パラリンピックに向けた 健康危機・医療への備え

無料
事前登録制

2018.10.19
FRI/13:00 - 18:10

国立国際医療研究センター
国際医療協力研修センター棟5階大会議室

「マスキング・ザリング」「集団形成」により起こり得る健康危機への備え
感染症対策／救急医療提供体制／外国人への医療提供体制

第1部 | 基調講演 日英同時通訳

2012年ロンドン五輪における公衆衛生対応能力強化

Ms. Tina Endericks | Director, WHO Collaborating Centre on Mass Gatherings and Global Health Security, Public Health England

第2部 | 感染症対策

2020年東京オリンピックに向けた感染症対応体制の構築について

三宅 邦明 | 厚生労働省 結核感染症課長

アジア太平洋新興感染症・公衆衛生危機戦略 (APSED III) とマスキング・ザリング

Dr. Thilaka Chinnayah | Medical Officer for International Health Regulation, WHO Health Emergencies Programme, World Health Organization Regional Office for the Western Pacific

マスキング・ザリングにおける感染症サーベイランスの強化について

和田 耕治 | 国際医療福祉大学 医学部 公衆衛生学 教授

生物テロとその対策

齋藤 智也 | 国立保健医療科学院 健康危機管理研究部 上席主任研究官

第3部 | 救急医療提供体制

アカデミアから提案する救急医療提供体制

横田 裕行 | 日本医科大学付属病院 救急救命科 教授

オリンピック・パラリンピックの救急医療提供体制：NCGMが出来ること

佐々木 亮 | NCGM 救命救急センター 医師

オリンピック・パラリンピックにおけるアスリートに対する救急医療

Dr. David Zideman | Consultant in Anaesthesia and Pre-Hospital Emergency Medicine, International Olympic Committee

第4部 | 外国人への医療提供体制の構築に向けて

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた外国人への医療提供体制の構築

高崎 洋介 | 厚生労働省 医政局 国際医療展開推進室長

2018年ピョンチャン冬季オリンピック・パラリンピックにおける外国人への医療提供体制

Prof. Kang Hyun Lee | Dean, Wonju College of Medicine, Yonsei University

AIを活用した多言語音声翻訳による病院での外国人対応への取り組み

長瀬 友樹 | 富士通研究所・人工知能研究所 特任研究員

NCGMにおける外国人への診療提供体制について

大曲 貴夫 | NCGM 国際感染症センター長

| 総合司会 | 日下 英司 | NCGM 国際医療協力局長
| 開会挨拶 | 國土 典宏 | NCGM 理事長
| 来賓挨拶 | 池田 千絵子 | 厚生労働省 国際保健担当 総括審議官
| 座長 | 第1部：三好 知明 | NCGM 国際医療協力局長
第2部：明石 秀親 | NCGM 国際医療協力局長
第3部：木村 昭夫 | NCGM 救命救急センター長
第4部：藤田 則子 | NCGM 国際医療協力局長
大曲 貴夫 | NCGM 国際感染症センター長
| 総括 | 日下 英司 | NCGM 国際医療協力局長
| 閉会挨拶 | 春日 雅人 | NCGM 名誉理事長

アクセス

大江戸線 若松河田駅河田口 徒歩5分
東西線 早稲田駅2番出口 徒歩15分

参加方法

どなたでもご参加いただけます。
WEB 事前登録の上、ご参加ください。

国立国際医療研究センター
国際医療協力局 HP イベント情報

またはこちらのフォームから
<https://goo.gl/forms/sNWEcsrYTgzPBmw33>

